

平成30年度第4回山元町教育委員会定例会会議録

1. 招集日時 平成30年7月25日(水) 午後3時00分
2. 招集場所 勤労青少年ホーム 講義室
3. 出席委員 教育長 菊池卓郎
委員 荻原美智絵 委員 齋藤房江
委員 菅野正彦
委員 大内悦夫
4. 説明のため出席したもの
学務課長 佐藤兵吉
生涯学習課長代理 伊藤和重(生涯学習課生涯学習班 班長)
5. 本委員会の書記
学務課総務班 班長代理 伊藤千春(学務課総務班 副班長)
6. 開 会 午後3時00分

教育長 ただ今から、平成30年度第4回山元町教育委員会定例会を開会いたします。なお、本日の会議の出席者ですが、生涯学習課の佐山課長については、日独スポーツ少年団交流事業の関係で公務出張しており、生涯学習班の伊藤班長が代理出席となっております。また、学務課の大石班長も公務出張のため、同じく学務課の伊藤副班長が代理出席となっております。どうぞよろしく申し上げます。

.....

教育長 日程第1 議事日程の朗読をお願いします。
学務課長説明願います。

学務課長 日程第2 前回の教育委員会定例会会議録の承認
日程第3 会議録署名委員の指名
日程第4 一般事務報告、(1)教育長報告、(2)学務課長・生涯学習課長(公民館事業を含む)
日程第5 報告第1号 第10回・11回山元町小・中学校再編検討委員会について

- 日程第6 報告第2号 平成30年度第2回山元町文化財保護委員会について
- 日程第7 議案第1号 平成31年度使用教科用図書採択の承認について
- 日程第8 議案第2号 平成30年度教育功績者表彰候補者について
- 日程第9 議案第3号 山元町指定文化財茶室整備・活用検討委員会の委員委嘱について
- 日程第10 その他 (1) その他
- 以上で、ございます。

教育長 それでは、日程第2 前回の教育委員会定例会および臨時会の会議録の承認をお願いいたします。

学務課長 はじめに定例会の方からお願いいたします。

齋藤委員 先ほど目を通しましたけれど、間違いなく記録されておりましたので、承認いたします。

大内委員 臨時会も同じく記録されておりましたので、承認いたします。

教育長 日程第3 会議録署名委員の指名を行います。

今回の会議録署名委員は、齋藤委員と菅野委員になります。

教育長 日程第4 一般事務報告の(1)教育長報告を行います。

教科書の採択協議会の概要についてですが7月19日、教科書の採択協議会が名取市の文化会館で行われました。今回13市町村の教育長、学校長、保護者代表の方3名が出席された中で来年度の教科書の採択について各市町村からの報告を元に採択についての協議を行ったところ、今回大きく3つ、採択の協議を行いました。1つ目は小学校の教科書についてです。国語、算数、理科、社会と全ての教科について、道徳は除かれますが、各市町村からの報告を集計したものが出されまして、それで協議をしました。小学校は再来年の平成32年度から新しい指導要領になりますので、来年1年間だけの教科書の使用とのことで、今使っている教科書を引き続き使用するというので協議がまとまりました。2つ目は、中学校の道徳についてです。8社の図書があったのですが、結果的には東京書籍の道徳の教科書が採択になりました。13市町村の数

の内訳を言いますと、7つの市町村が東京書籍、そのほか、教育出版、光村図書がそれぞれ3市町村挙げたのですが、半分以上の市町村が希望している東京書籍に採択ということでまとまったところです。3つ目は、特別支援関係の教科書についてですが、各市町村から出された要望ですね、希望があるものを全て採択ということで例年通り教科書そのものに問題はなく、使いたい市町村の要望そのままに採択となったところです。本日、正式に議案として承認をいただくようになりますが、今お話したことについては、8月いっぱい、非公開となり、公表はしないこととなっています。その他、情報公開あるいは教科書採択にあたって、調査した先生の名簿等も9月いっぱいの公表となっていることを申し添えます。採択協議会の概要については、以上です。

次に、学校の事故報告についてですが、計6件です。

1つ目は、6月29日、坂元中学校でのことでした。中学校2年生の男の子が、女の子に性的な嫌がらせをしたことです。概略を言いますと、放課後、二人だけで居残りをしていた状況の中で、男子生徒が女子生徒の胸を触り、家に帰ってから、そのことについて保護者から訴えがあり、事実確認等、指導をしたのですが、被害を受けた方の家庭では、学校の指導だけでは済ませられないということもあるので、とのことで、警察にまだ正式には届けていないのですが、被害届を出すような方向で動いております。警察も、それを受けるような形で動いているところです。

2つ目は、7月2日、山下中学校の教諭が学校から帰るときに前方を走っていた宮交バスに追突をしました。結構スピードが出ていたので、車はかなりへこんだ状態になり、バスに乗っていた方1名が不調を訴えて通院したのですが、最終的には何でもないとということで済んでいるところです。

3つ目は、7月7日、勤務日でない週休日ですけれども、この土曜日は学級懇談会で、通勤をする際に信号待ちで止まっていたところ、追突された、ということでした。車の破損だけで両者とも怪我はない、ということでした。

4つ目は、給食の事故です。7月13日、坂元中学校の3年生の給食の汁物に虫の一部が混入しており、これについては、調理をしている中で入ったものではないだろうということです。納入業者の方に連絡をして、確認をしてもらったところですが、いずれにしましても保護者宛に異物混入のお詫びの文書を差し上げているところです。

5つ目は、同じく給食事故ですが、7月13日に山下中学校の方でご飯に、これは…。

学務課副班長

これはですね、釜の一部、炭のようなもの、とのことでした。

教育長 ご飯に入っていたので、業者から納入されたものであったということでしたよね。ですから、調理時に混入したものではないだろう、ということですが、これもお詫びの文書を差し上げているところです。

6つ目は、7月23日、仙台の合同庁舎で研修が終わって帰る際に、接触事故があったと。車線をまともに走っていたところ、右折車線に入っていた車が急に直進の方向に入ってきて、それを避けようとして更に左の方に車線変更したらば、避けようとしてよけた車が、後ろから来た車にぶつかってしまった、ということです。これも車の破損だけで怪我はなく、物損事故で済んだということです。

学校事故については以上です。

今までのことでご質問等あれば、伺います。

齋藤委員 給食事故、結構多いですよ。原因は追及できないものでしょうかね。

教育長 まずはご飯の件については、納入業者ですので、嚴重に混入の無いように指導したところです。坂中のスープに虫っていうのは、これは。

学務課副班長 これは、冷凍オクラが納入された際に既に刻まれた状態で冷凍されていた袋から直接鍋に入れて調理していたので、今後は一度冷凍された刻み野菜を一度水洗いした上で目視確認を行うことで混入を防止する話になっています。

教育長 平成29年度、給食事故は頻発したのですが、調理中の混入も考えられましたし、配膳することでも考えられたのですが、なかなか特定できず、件数が多かったです。今年度は、あまりそうことはないかなとは思っています。

学務課長 結構、原因がどこか、というのが分からないんですよ。調理中なのか、買って来た食材に入っていたのか、というところが。

教育長 今回の2件については、元々の納入業者から、ということが言えるのですが。

学務課長 このオクラに入っていた虫の関係については、業者に確認したのですが、外からは来ていない、ということなのですが、今度はその現物を一応、業者に確認してもらって、結果報告をもらうことにしています。

齋藤委員　　これから成長していく子ども達の食べ物を給食で正直、ざっくばらんに言ってしまうと、給食で栄養を採っているという子どもも中には随分いるようなお話を聞くんですよね。家庭の食生活が結構貧困、というか。そういうことを考えるとやはり給食が大事っていうのは感じるので、なるべくそういうようなのは出てこないように願うんですけども。その辺もうちょっと徹底っていうのはできないものでしょうか。

教育長　　同じ事が繰り返されるのであれば、それは何かしらのはっきりとした対策を講じなければならないのですが、今回は納入業者ではないか、去年は配膳のときも考えられるのではないか、ということで、一つ一つの原因を迫及し、その都度確認しようとするのですが、確認出来る場合と、出来ない場合がある。いろいろと場面とか要素が異なるので、難しいところがあります。

齋藤委員　　子ども達の配膳に対してはもう少し徹底した指導が必要なのではと思います。

教育長　　皆さん、お分かりとは思いますが、帽子をかぶっているので、髪の毛が入るとかは防いでいるのですが、飛んでいる虫が何かの拍子に入った、というのは防ぎようがないので、なかなか難しいですね。

学務課長　　山中でも蠅みたいなものが入った際も、給食を配膳して、食べておかわりをしようとした子の茶碗に入っていた、ということがあり、その間ずっと蓋が開けっ放しであったようなことも事実あったようです。

齋藤委員　　それはちゃんと指導するべきですよ。

学務課長　　指導は学校を通して行っていますので、一度きちんと蓋を閉めておくようにと指導は徹底しています。

齋藤委員　　もう少し衛生管理を子どもの意識の中でも、先生もそうですけど、そういうのを徹底することを望みます。よろしくお願いします。

学務課長　　はい、それはもちろん。

教育長　　はい、他に無いでしょうか。無ければ次に学務課長報告をお願いいたします。

学務課長

はい、教育委員会の主な行事ということで報告いたします。

6月28日、地域学校協働活動コーディネーター委嘱状交付式。

第10回小・中学校再編検討委員会。

7月11日、教育委員会の臨時会。

第11回小・中学校再編検討委員会。

12日、亶理地区学校警察連絡協議会第1回定例会

映画上映会 君の笑顔に会いたくて上映。

13日、小中学校校長会臨時会。

第39回少年の主張仙台地区大会。

19日、文化財保護委員会。

第2回仙台地区教科用図書採択協議会。

20日、議会全員協議会。

25日、兵庫県新任教職員研修。

教育委員会定例会。

26日、日独スポーツ少年団同時交流ウェルカムパーティ。

27日、亶理郡学校運営研修会。

29日、日独スポーツ少年団同時交流さよならパーティ。

8月2日、山元町教職員研修大会。

3日から5日、山元町小・中学校に係る住民説明会。

20日から22日、宮崎市中中学生交流事業。

以上が委員会としての主な行事となります。

次に、学務課の主な行事を報告します。

6月10日、産建教育常任委員会。

12日、宮崎市中中学生交流事業打合せ。

13日、平成29年度の決算審査。

23日、組織機構改善検討委員会。

以上が主な行事となっております。

次に、いじめ・不登校等の6月分を報告します。

長期欠席者・不登校の状況ですが、先月8名でありましたが、先月から7人増となっております。また、転出により山下小学校児童が1名減となっております。この児童は中学生の兄がいるのですが、兄はまだ転校の手続きが終わっていないため、山下中学校在籍のままとなっております。新たに、不登校となった7名については、坂元小学校の6年生の男子児童で、不登校の原因については、転校や保護者の離婚による環境の変化等が要因のようです。

次に、山下中学校の6人ですが、1人目は、2年生の女子生徒で継続的に不登校が続いている生徒で、担任との面談で、最近夜眠れないとの相談もあり、県の総合教育センター内の子どもメンタルクリニックを受

診しており、現在は薬を服用しながら様子を見ているというような状況です。

2人目については3年生の女子生徒で、学級における人間関係や学習の遅れに対する不安等から不登校となっており、先日、母親も含めた面談を行い、高校進学に向けて励ましながら指導していくという状況です。

3人目は、3年生の女子生徒で、学級や部活動における人間関係に対する不安から不登校となっております。父親も含めた面談を行い、当分の間フリースクールに通い、自信をつけて学校に復帰したいという状況です。

4人目は、3年生の男子生徒で、昨年度から不登校傾向にあり、1学期は始業式や入学式には参加したのですが、それ以降欠席ということが続いている状況です。

5人目は、3年生の女子生徒で、起立性調節障害で、午前中の活動が困難で、よく保健室を利用しているというような状況です。

6人目は、3年生の女子生徒で、無気力や人間関係の不安による不登校で、別室指導等できる限り登校しながらの学習に努めるように取り組むということです。

以上が不登校の状況となります。

次に、準不登校については6月中に5人が新規該当となっております。

内訳は、山下第二小学校の2年生の女子生徒、山下中学校の2年生の女子生徒、山下中学校の1年生の男子生徒、山下中学校の3年生の女子生徒、山下中学校の3年生の男子生徒で、いずれも色々な理由により、準不登校となっております。

次に、別室登校では、山下中学校で新たに2人増となっております。

次に、いじめ、暴力行為は特にありませんでした。

次に、授業抜け出しを、山下第一小学校で1件確認しております。6月4日の月曜日、5年生の男子生徒が、学校を抜け出して自宅に帰ったという事案で、この生徒は普段から宿題をやって来なかったり、忘れ物をするとお腹が痛くなり、トイレに行くことが多く、普通であれば戻ってくる、といった事を繰り返していたのですが、当日は1時間目の授業で宿題を忘れ、担任から怒られたことでお腹が痛くなり、「トイレに行ってきます」と告げて、自宅に戻ったとのことで、その後、校長、担任、母親、児童と4人で話し合い、学校から自宅へ戻ったことに気付かなかったことについて謝罪を行い、今後の対応につきまして話を行い、次の日からは欠席もなく登校している状況です。

次に、性的行為ということで1件、先ほど教育長から事故報告として説明がありましたが、坂元中学校での性的ないやがらせの事案が発生しております。

以上、6月のいじめ、不登校の状況です。

教育長 ご質問等あればお願いいたします。

齋藤委員 今後、そういう子どもに対してどういう対応をしていこうとしているのでしょうか、それぞれの学校がどう考えているのか知りたいのですが、例えば、授業を抜け出して家に帰ったような子どもに対して具体的にそのようなことを行わないようにする方法として先生の指導のあり方は。

学務課長 今後の対応については、基本的には、児童の性格にも問題があると考えられますが、今後、本人が問題を抱えてトイレに行ったときには声を掛ける等、継続してできるだけ目を離さないようにすると学校から報告を受けております。

齋藤委員 障害児扱い等にはできないか。他の児童に影響があるのではないかと考えるんですが、その辺あたりの対応は。

教育長 なるべく目を離さないようにして、それから、障害については、今まで4年間学校で過ごしてきているので、障害のある子どもが入るべき特別支援学級に該当するかしないかは学校で今まで検討はしてきていると思いますが、学校からの申し出も無いので、そこまでは無いと思います。あとは学校の裁量と言いますか、そこまでのところでは無い子どもと判断されます。

齋藤委員 ありがとうございます。

教育長 ほかに何かないでしょうか。

菅野委員 山下中学校の3年生に不登校が大分多く、2年生の時から継続の子ども達も何人かいますよね。難しいと思うのですが、継続して見てもらうしか無いのかなと思います。

教育長 山下中学校では今の3年生がこれまでに比べて非常に多い、それに、2年生にも不登校が目立つ、というところですよ。今の中学校3年生は(東日本大)震災の時の小学校1年生辺りの学年です。そこも影響し、その時点の小学校生活で結構影響を及ぼしているのではないかと思います。

また、対人関係の不安が多く、母子家庭であるとか、お父さんがうつ

症状で仕事を休んでいるとか、家庭的に不安定な部分が見えるところが多いというところがあります。

齋藤委員　　そういう子に対して保健福祉課でのサポートは出来ないのか。

学務課長　　直接、病気とかであれば保健福祉課が入ることもあるかとは思いますが。

齋藤委員　　経済的なことでのサポートは。

生涯学習課長　　経済的な支援はあります。しかし、本人からの相談や民生委員さんからの相談がないと難しいです。

齋藤委員　　申請がないとできないという体制でなく周りが見て、心配な時にサポートできるようなかたちで保健福祉課で気を配ってあげられればそういう子達が少しでも救われるのではと思います。

学務課長　　「就学援助制度」というものがあるので、被災世帯であれば通常の部分でも就学援助制度があります。学校を通して保護者に申請書を配付し提出してもらっています。学校で何か気付くことがあれば申請を促し、給食費、学用品の補助などをできるだけ受けられるように学校と調整しながら支援できるような体制に努めています。

齋藤委員　　そういう人達になるべくドロップアウトしないような生活環境を少しでも公的なものでも何でも利用できるものがあれば、そういうのを教えてあげて、使って何とか生活維持できるように環境を整えてもらえればという風に思いますけれども。

教育長　　民生委員さんも各地区で活動されているのですが、家庭に入りづらい状況になってきているようです。その家庭が困っていると分かっているも、周りで何とかしてあげられるような状況に無い現状のようです。まあ、家庭が受け入れないということもあるようです。

齋藤委員　　ある程度、学校と地域の情報共有って大事だと思います。

教育長　　先ほど話されたように、学校給食が唯一の栄養補給の場という家庭もあるというところで、学校がそれを担うのも非常に大変な部分かなと思います。

教育長 質疑等あれば、伺います。

(「無し」の声有り)

教育長 それでは、次に生涯学習課長に報告させます。

生涯学習課班長 はい。それでは、生涯学習課（中央公民館・坂元公民館）の主な行事を報告します。

7月6日から7日、東北地区スポーツ推進委員研修会宮城県大会。

12日、映画「君の笑顔に会いたくて」の上映会。

14日、ひだまりマルシェ。

ミュージカル「ジャングルブック」の公演。

26日から30日、日独スポーツ少年団同時交流事業。

8月1日から3日、姉妹・友好都市シニアリーダー研修会・交流会。

7日から8日、防災キャンプ。

また、東京オリンピック聖火リレーについて、被災3県についてはそれぞれ3日間を日程として予定されていることと、県内のルートについては沿岸部を想定している事が示されているところです。具体のルート選定につきましては、今後IOC組織委員会や宮城県実行委員会等との協議によって年度内に決定される見通しという説明ことです。詳細は分かり次第またご報告させていただきたいと考えております。

以上が、生涯学習課の主な行事報告になります。

教育長 質疑等あれば、伺います。

(「無し」の声有り)

教育長 日程第5、報告第1号「第10・11回山元町小・中学校再編検討委員会について」学務課長からさせます。

学務課長 はい、始めに、第10回の検討委員会でございますが、6月28日、つばめの杜ひだまりホールの方で夜6時30分から、約2時間開催しております。会議の内容ですが、協議といたしまして、中学校の再編スケジュール案として、平成33年4月を目指したスケジュールについて説明しております。

また、小学校再編の方向性について検討を行っており、最終的な結論としては一つにまとめるということで再編のスケジュールとしては平成38年、2026年、約10年を目安にとの方向性で確認をしたとこ

ろであります。

次に、第11回目の検討委員会ですが、7月11日のつばめの杜で夕方6時30分から開催し、内容は、主にこれまでの検討のまとめと、住民説明会に向けた資料の確認を行っております。山元町小中学校再編に向けた検討、報告の概要について素案を元に検討、まとめ等を行っております。

以上でございます。

教 育 長 質疑等あれば、伺います。

齋藤委員 今の説明で最終的に小学校を一つにまとめるのは平成38年を目安にするということは説明会の時に説明はするのか。

学務課長 資料のほかにパワーポイントも使って説明しますので、その中でおおむね10年と説明する予定です。

齋藤委員 わかりました。

大内委員 中学校再編スケジュール案は、もう出ているんですけども。

教 育 長 これは検討委員の方に向けてということで、どちらかというと「なるべく早くできないものでしょうか」「1年でできないものでしょうか」という意見もあって1年では再編は難しいと思いますということで出したものであり、平成31年度、32年度の2年間をかけて準備して、33年度の4月ということで。学校が二つだけなので、簡単そうでも新しい学校を一つ作る、という感じになるので、名前の事やら制服をどうするという事とかもありますし、後は教育計画を学校間で調整して、ちょうど指導要領が新しくなる時期にもなるんですけど、その辺の調整をしていくと2年後を見込んでいるところです。

大内委員 地域問題、同窓会、PTA等どうするか。

教 育 長 PTAの観点からいうと、お金の集め方も違うんです。山下中学校は引き落としなんですけど、坂元中学校は現金徴収と。それを切り替えるにしたって、整理して早くにご理解いただく必要があります。

大内委員 通学方法もあるでしょう。

教育長 学校で、普通に1年間の学校の動きをやりながら、それに加えての色々な調整の会議を計画的にやっていかなければならないので、学校の先生方で分担しながらやってもらうにしても大変だと思うんですね。まあ、非常に大事なことは校長、教頭が入ってということになりますし、場合によっては検討しなければならない中身によっては小学校の校長先生方の協力ももらって、何か検討の時に話に入ってもらって調整をしてもらうことも必要になります。かたや、学務課の方も職員の対応もプラスアルファになってきますので、いずれにしても負担は増すかと思います。

齋藤委員 その時、人事異動とかって無いようにしないとまずいですよね。校長先生とか。

教育長 校長、教頭が皆一斉に変わるというのはないと思いますけどね。そこはうまく繋がるように。

菅野委員 あの、2つの学校があって、そこにくっついたんであれば、それなりに人事もありますけどね、2つ一緒、新しい学校となれば新しい人事になるのですね。そこから何人か行く可能性はありますけれども、それはわかりません。全然別な人が入ってきても、学校はやれますから。

齋藤委員 そこまで行く間に、せっかく色々な話が出ていて、新しい学校が出てある程度経ってからは分かるんですけども、そこに至るまでの間に校長先生とか教頭先生とか人事で変わったら、そこまで蓄積していたものが、こう、うまく伝達できれば良いんですけども、というのが心配です。でも大変ですよ、正直。

教育長 全員が全員、教員が変わるわけでも無いです。校長と教頭が同時に代わる、というのであれば大変になりますけれども。それも色々、定年を迎える人が居るのであればね、それは止められないです。だからいたしかたない部分ですね。

齋藤委員 再編というのはもう決まったんですか。

教育長 検討委員会では再編の方向で、ということなので、それは説明会で出して、ご理解いただいてということになりますね。

教育長 質疑等あれば、伺います。

(「無し」の声有り)

教育長 それでは、日程の第6 報告第2号、「平成30年度第2回山元町文化財保護委員会について」生涯学習課から説明させます。

生涯学習課班長 はい、7月19日の10時から第2回山元町文化財保護委員会を開催いたしました。議事内容につきましては、平成30年6月議会議決に伴う文化財関係予算、及び事業計画について、山元町指定文化財茶室整備・活用検討委員会の設置について、その他といたしまして、東北学院大学と山元町との合同学術調査についての報告となっております。内容につきましては、議事録等つけさせていただいております。予算事業計画につきましては、主に検討委員会の報償費、あと、埋蔵文化財の収蔵庫の設計費、あと、歴史民俗資料館のリニューアル工事の工事費ということになります。リニューアル工事の方につきましては、歴史民俗資料館が7月17日から11月上旬まで閉館するということで報告を行っております。検討委員会設置につきましては、当該地域住民の意見を十分反映させるためにというところで、検討委員会を設置し文化財保護委員へ提言を行うという形で設置の内容を説明しております。あと、東北学院大学の学術調査につきましては、合戦原古墳群の1号古墳というところの調査を7月30日から9月5日まで辻教授と学生さん達を中心に調査を行うということで文化財保護委員会の方へ報告しております。詳細につきましては、議事録をご覧くださいと思います。

以上でございます。

教育長 質疑等あれば、伺います。

(「無し」の声有り)

教育長 それでは、日程第7 議案第1号、「平成31年度使用教科用図書採択の承認について」学務課長から説明させます。

学務課長 それでは、議案第1号、「平成31年度使用教科用図書採択の承認について」説明をさせていただきます。この議案につきましては、今月の11日に教育委員会臨時会を開催しまして、町の教育委員会としての採択計画書としてご質疑をいただきまして、協議会の方へ提出していただきましたが、協議会での審議が行われ、その採択の結果について別紙の通り通知を受けております。採択につきましては、通知書の裏面の方に小学校用の教科用図書目録となっております。本町から提出しました採択計

画の発行者と同様の結果というふうなことで、先ほど教育長の方からですね、報告があったとおりでございます。その次のページが、中学校の道徳ということでの教科用図書の目録、こちらについても本町から提出の採択計画書と同様という結果になっております。なおですね、次のページ以降が特別支援学校の小学部、中学部の教科書目録、あとは学校教育法附則第9条特別支援学級のもので、特定の規定による教科用図書の一覧というふうになっております。以上がですね、仙台地区教科用図書採択協議会での採択結果となっておりますので、よろしくご審議の上、承認賜りますようお願いいたします。

以上でございます。

教育長 質疑等あれば、伺います。

(「無し」の声有り)

教育長 異議なしと認め、議案第1号、「平成31年度使用教科用図書採択の承認についてを提案のとおり承認する。

教育長 次は、日程第8、議案第2号、「平成30年度教育功績者表彰候補者について」学務課長から説明させます。

学務課長 はい、では議案第2号、平成30年度教育功績者表彰候補者について説明をいたします。功績者については、教育功績者表彰規定に基づき表彰するもので、今回は表彰規定の第2条第3号に規定される、町立学校PTA会長として4年以上務め、学校教育等に貢献した者に該当する方2名を推薦しております。一人目につきましては、建村勇樹さん、でございます。平成26年から平成28年の3年間、山下第一小学校でPTA会長、平成29年から現在まで山下中学校でPTA会長をお務めいただきまして4年以上ということになります。性行及び信望で長年にわたり、PTA活動に尽力してきており、PTA役員及び会員からの信望も厚いというふうなことでございます。二人目は成毛雅子さん、平成25年から26年度の2年間、坂元小学校でPTA会長、平成28年から平成29年度の2年間、坂元中学校でPTA会長をしており、計4年となっております。性行及び信望についてはご覧のとおりとなっております。この2名の方が表彰規定の4年以上ということでPTA会長を経験しておりますので、本日推薦をするものであります。よろしく願いいたします。なお、表彰についてはこの会議の最後にご説明いたしますが、8月2日の教職員研修大会の席上で行いたいと考えております。以上、

議案第2号となります。よろしく願いいたします。

教育長 質疑等あれば、伺います。

(「無し」の声有り)

教育長 異議なしと認め、議案第2号、「平成30年度教育功績者表彰候補者」についてを提案のとおり承認する。

教育長 次に、日程第9、議案第3号、「山元町指定文化財茶室整備・活用検討委員会の委員嘱託」について生涯学習課から説明させます。

生涯学習課班長 ご説明いたします。配付している委員の名簿をご覧ください。「山元町指定文化財茶室等整備・活用検討委員会設置要綱」に基づきまして、委嘱を行いたく協議会にて選出しております。任期は平成30年8月1日から平成34年3月31日までとなります。規定では8名以内となっております。有識者、地域住民代表者の8名を予定しておりますが、今現在7名となっております。1名につきましては現在打診を行っており、現段階7名の委嘱を行って良いか伺いいたします。なお、8月2日に山元町指定文化財茶室等検討委員会開催を予定しております。以上、説明を終わります。

教育長 質疑等あれば、伺います。

菅野委員 永井先生、相模先生の専門分野は何でしょうか。

生涯学習課班長 どちらも建築史専門の先生です。

大内委員 相模先生は誰からの紹介なのですか。

生涯学習課班長 相模先生は事務局の方で探しまして、宮城県からの紹介となっております。

教育長 質疑等あれば、伺います。

(「無し」の声有り)

教育長 異議なしと認め、議案第3号、「山元町指定文化財茶室整備・活用検

討委員会の委員囑託」についてを提案のとおり承認する。

教育長 次に、日程第10、その他に入ります。「平成30年度山元町教職員研修大会の開催について」学務課より説明願います。

学務課長 お手元に「第61回山元町教職員研修大会」の通知を資料としてお配りしております。8月2日、木曜日になりますが、午前9時20分から山下地域交流センターで開催いたします。会場は1階の文化ホールで、対象は町内の小中学校の教職員全員、教育委員会、教育委員の皆様となっております。内容としては、講演を2本予定しております。一番目は亘理のスーパーバイザーの望月先生の講演、二番目は長期研修に行っておりました山下中学校の滝深教諭の講演となっております。

教育長 望月先生は、宮城県のスクールソーシャルワーカーの第一人者で、県ではスクールソーシャルワーカーを指導するスーパーバイザーという位置づけになっている方です。亘理町に去年から週に1から2回来てアドバイスもしており、郡の中でも今までの豊富な経験を元にアドバイスをされている方です。滝深先生は、1年間県の総合教育センターへプログラミング研修に行かれた研究の内容の紹介です。今朝の新聞の県内版に彼らがやったプログラミングの成果に対して表彰された旨が掲載されていました。非常に良い研究をしてきたようなので、特に小学校のプログラミング教育で特に中学校の先生方には合致しないのですが、30分くらいで紹介してもらおうと考えています。

教育長 それでは、その他委員の皆様からございますでしょうか。

(「無し」の声有り)

教育長 以上をもって、平成30年度第4回山元町教育委員会定例会を閉会する。

7. 閉 会 午後4時23分

学務課総務副班長 伊藤 千春
上記記録の正確なることを認めここに署名する。

平成30年8月23日

会議録署名委員

菅野正彦

平成30年8月23日

会議録署名委員

齋藤房江